

Mozart & Fauré REQUIEM

グリーン・エコー第64回演奏会

モーツァルト & フォーレ

レクイエム

指揮: 松井 慶太

独唱: ソプラノ: 澤江 衣里 アルト: 山下 牧子

テノール: 鈴木 准 バリトン: 青山 貴

オルガン: 室住 素子

合唱: グリーン・エコー

管弦楽: 名古屋フィルハーモニー交響楽団

合唱指揮: 荻野 砂和子 / 河辺 泰宏

2024 3/7 (木)

18:00開場 18:45開演

日本特殊陶業市民会館フォレストホール

S席: 5,000円 / A席: 4,000円 / B席: 3,000円 / Y席: 1,000円 (学生券) [全指定席]

【チケット取扱 / 2023年12月15日発売開始】

●長円寺会館 / 052-231-0955

●愛知芸術文化センタープレイガイド / 052-972-0430

●名古屋市文化振興事業団チケットガイド / 052-249-9387

●ローソンチケット [Lコード: 43730]

店舗購入: ローソン・ミニストップ店内「Loppi」

WEB予約: <https://l-tike.com/>

■Y席につきましては長円寺会館にお問い合わせ下さい。

■車椅子席があります(2,000円)。

■託児を行っています(無料)。

★車椅子席及び託児につきましては二週間前までに長円寺会館に予約が必要です。

■その他問い合わせ先 / 長円寺会館内グリーン・エコー
052-231-0955

主催: グリーン・エコー 後援: 愛知県・名古屋市・愛知芸術文化協会(ANET)・愛知県合唱連盟

グリーン・エコー第64回演奏会

歴史上数多くの作曲家が挑んできた「死者のためのミサ曲」即ち「レクイエム」には、大きく分けて二つの潮流がある。一つは「安寧のレクイエム」、そしてもう一つは「慟哭のレクイエム」である。前者に相当するのがブラームスやフォーレであり、後者に相当するのがヴェルディやモーツァルトである。現代作曲家で言えば、アンドリュウ・ロイド＝ウェッバーが前者、ベンジャミン・ブリテンが後者に該当する「レクイエム」の傑作を残している。

人生を全うした大切な人を見送る時、旅立つ者のみならず残された者たちにも心の平安あれと願う安らかな気持ちに裏付けられたものが「安寧のレクイエム」だとすれば、これは

神の元へ導かれる「死」を幸福な出来事であるとするキリスト教の本質的な考え方によく合っている。

一方、人生の途上で災害や戦乱、病気や自害などにより不本意な死を迎えた者には、嗚咽こそが相応しい。生への執着を残したまま旅立つ者には、やがてくるべき「最後の審判」に怯える姿が重なって見える。こうした感情に真っ向から対峙したものが「慟哭のレクイエム」ともいうべき作品群である。

疫病、災害、戦争…巨大な力に抗いながら激動の時代に身を置き、大切なものを失う悲愴と大切なものを見つける幸福について今こそ考えたいと思い、ここに二つの「レクイエム」を選んだ。
(記:河辺 泰宏)



Conductor
松井 慶太
MATSUI, Keita

青森県八戸市生まれ。16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦に師事。2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。これまでに、ライブツィヒ響、プラハ響室内オーケストラ、ドナウ響、東京シティ・フィル、日フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪響、九響、京響、群響、札響、セントラル愛知響、仙フィル、名フィル、関西フィル、中部フィル、山響、シエナ・ウインド・オーケストラ、東京吹奏楽団、東京室内歌劇場等を指揮。2008～2014年には、N響定期演奏会にてシャルル・デュトワ、チョン・ミョンフン、ファビオ・ルイーゼ、トゥガン・ソヒエフらのもとで合唱指揮を務め、公演を成功に導く。2011年～2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス。2022年9月よりオーケストラ・アンサンブル金沢コンダクターに就任。2023年4月より東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。



Soprano
澤江 衣里
SAWAE, Eri

島根県益田市出身。国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。第79回日本音楽コンクール2位入賞。第11回東京音楽コンクール最高位。声楽を永井和子、佐藤峰子に師事。2006年よりバッハ・コレギウム・ジャパンのアンサンブル・メンバーとして研鑽を積む。バッハ「口短調ミサ曲」、ロイド＝ウェッバー「レクイエム」など後期バロックから現代まで幅広いレパートリーを持つコンサート歌手として活躍している。島根県ふるさと親善大使・遣島使。澤江衣里HP <https://www.eri-sawae.com>



Mezzo Soprano
山下 牧子
YAMASHITA, Makiko

広島大学教育学部を経て東京芸術大学大学院修了。これまで、『カルメン』及び『ジュリアス・シーザー』タイトルロール、『サロメ』ヘロディアス、『軍人たち』マリー、『蝶々夫人』スズキ等多くの役を演じ、日生劇場、新国立劇場、二期会等の多くのプロダクションに出演を重ねている。堅実なテクニックに裏付けされた端正な歌唱はコンサートでも高く評価され「第九」をはじめ、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」等で活躍。第1回東京音楽コンクール第1位等受賞歴多数。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。沖縄県立芸術大学教授。二期会会員



Tenor
鈴木 准
SUZUKI, Jun

東京芸術大学大学院にて音楽博士号取得。『魔笛』タミーノは、新国立劇場、日生劇場、二期会等数々のプロダクションに出演する当たり役。これまで、バッハ・コレギウム・ジャパンでは国内外の公演・録音に参加。J.S.バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ブリテン「セレナード」等出演。ニューヨーク・オラトリオ協会の初来日公演で「メサイア」ソリストを務めた。作詞家・松本隆氏から信頼を寄せられ、氏の現代語訳によるCD《冬の旅》《白鳥の歌》をリリース。桐朋学園大学准教授。東京芸術大学講師。二期会会員



Baritone
青山 貴
AOYAMA, Takashi

東京芸術大学大学院修了。二期会オペラスタジオ及び新国立劇場オペラ研修所修了。イタリアで学ぶ。これまで『トスカ』スカルピア、『蝶々夫人』シャープレス、『セビリアの理髪師』フィガロ、『さまよえるオランダ人』『ファルスタッフ』タイトルロール、『ラインの黄金』『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・ザックス等に出演。コンサートでも「第九」をはじめブラームス「ドイツ・レクイエム」等で活躍。第6回カルロス・ゴメス国際コンクール第1位(伊)。第19回五島記念文化賞オペラ新人賞。二期会会員



Organ
室住 素子
MUROZUMI, Motoko

東京大学文学部美学芸術学科在学中、フォーレのレクイエムを歌った教会で、オルガンと出会った。東京芸術大学音楽学部器楽科(オルガン専攻)卒業、同大学院修士課程修了。秋元道雄、H.ピュイグ＝ロジェ、Z.サットマリー各氏に師事。安宅賞受賞。95年以降、活動の場を都響、新日フィル、N響、読売日響等へ広げ、2010年には小澤征爾/サイトウキネンオーケストラと「ブリテン:戦争レクイエム」をカーネギーホールにて共演。17年にはモスクワ音楽院大ホールにて、ロストロポーヴィチ音楽祭に参加。日本オルガニスト協会会員、水戸芸術館オルガン講座講師。

